Vol.9
平成３０年１０月発行

こむらさき雅史 後援会NEWS

こむらさき雅史といこまの未来を創る会
事務局：坂本ikomamirai@gmail.com

いこまの MIRAI IKOMA みらい

３年半の実績を踏まえ、「いこまのみらい」に向けた課題に引き続き挑戦します！

こむらさき雅史プロフィール
1974年　兵庫県生まれ　44歳
　　妻と子ども3人　子育て奮闘中
　　一橋大学法学部卒
1997年　環境庁（現・環境省）に入庁
2002年　シラキュース大学（米国）行政大学院に留学
2007年　在米日本国大使館（ワシントンDC）に勤務
2012年　生駒市副市長に就任
2015年　生駒市長に就任

生駒市長の小紫雅史（こむらさき　まさし）です。

2015年４月に市長に就任してはや３年半が経過し、任期も残すところ半年あまりとなりました。

この３年半は「みんなで創る！日本一楽しく住みやすい街『いこま』」をスローガンに、できる限り地域の活動に顔を出し、50回以上のワークショップやティーミーティングを重ねてきました。市民の皆様と意見を交わし、ともに汗をかきながら、どの市町村にも負けないまちづくりを進めることができました。

生駒市の次の課題は、未来に向かって発展を続けるまちづくりです。少子高齢化の中、これまでに培った市民や事業者の皆様との協創の機運を活かし、子育てや福祉はもちろん、活力にあふれ、進化・発展を続けるまちを創ることが最大の課題です。

このたび、この課題に挑戦するため、引き続き生駒の市政に全力で取り組んでまいります。皆様の一層のご指導を、なにとぞ宜しくお願いいたします。

こむらさき雅史

3年半の主な実績

子育て・教育

- こども医療費の助成対象を中学校卒業まで拡大
- 保育園の定数を３年間で270人増加
- 不妊症・不育症治療費用への補助拡充
- いじめ・不登校・ひきこもりなど、こども・若者総合相談窓口の開設
- 就学前から中学まで切れ目のない英語教育

福祉・安全

- 学校施設などの公共施設に100台以上の防犯カメラを設置
- 公共施設のトイレを洋式化・障がい者対応型に整備／鉄道駅などのバリアフリー化
- 生駒市立病院の経営が軌道に（医師数・患者数の増加）
- 障害者の親亡き後対策の強化（グループホーム、地域支援拠点、就労支援の拡充）
- 歩きたばこ及び路上喫煙の防止に関する条例の施行

文化・スポーツ

- 生駒市民吹奏楽団の設立／いこま吹奏楽の日やみんなで創る音楽祭の実施
- ビブリオバトル全国大会や「本棚のWA」など図書館を活用したまちづくり
- 関西初！FCバルセロナサッカースクール開校
- 吉本新喜劇、素人名人会などの開催
- イコマニア制度による市民イベントが601件誕生！

まちづくり

- ＡＩやロボットの時代を見据えた学研高山地区第2工区の開発
- 全国初の空き家対策・活用プラットフォームの立ち上げ
- 国道163号線バイパスや通学路・歩行者専用道路の整備促進
- 生駒テレワーク・インキュベーションセンターのオープン
- オープンデータ活用したアプリ作成や企業とのコラボ

「いこまのみらい」のために 全力で取り組む 5つのこと

３年半の実績を踏まえ、生駒市がこれからも発展と進化を続けていくため、市民の皆さまとともに、５つの重点分野に取り組みます！

1 子育て・教育
これからのAI/IT時代を生き抜く教育と子育てしやすい社会・経済環境の整備

- 生駒市民が希望する子どもの数は２．２７人ですが、実際の子どもの数は１．２６人。産みたい人が産める環境を整備します。
- 激動の社会でも子どもたちが生き抜くための主体性やコミュニケーション力を育む教育を進めます。

2 福祉
高齢化をネガティブワードにしない日本一の福祉のまち「いこま」に一層の磨きを！

- 人生100年時代を見据え、日本一の認知症・介護予防の取組みを一層進め、元気な高齢者が地域づくりに活躍する機会を増やします。
- 障がい者の「親亡き後」対策としての一人暮らし体験事業やグループホームの整備をはじめ、人生のステージごとに生じる課題に対応するサポートを強化します。

3 すまい・生活
自然環境、安心・安全と利便性が両立する、一歩先を行く住宅都市

- 公園などの公共スペースや空き家を市民と行政が協創により整備・利用するワークショップを開催します。
- 防犯カメラの設置促進や通学路の安全対策を拡充し、市民の安全安心を具体化します。

4 文化・スポーツ
伝統、文化とスポーツが毎日を豊かにするまちづくり

- 文化的水準が高い生駒市民の毎日をさらに豊かにするため、茶道などの伝統文化、伝統芸能の継承、吹奏楽や本を活用したまちづくりや、スポーツを通じた健康づくりを進めます。
- 郷土の文化や歴史を市民に発信することで、郷土愛をまちづくりの行動へとつなげていきます。

5 まちの発展・活性化
２１世紀に発展し続ける「いこま」を創る活性化戦略

- **高山第２工区**
  奈良先端科学技術大学院大学や、学研生駒テクノエリアなどと効果的に連携し、生駒市をＡＩやＩＴ、ロボティクスなどの最先端技術の開発と利活用の一大拠点にします。
- **「観光・農業」への挑戦**
  伝統産業や商店街の活性化に加え、生駒市の地域特性を生かした新時代の観光や農業に、市民や事業者とともに挑戦します。
- **挑戦を始める人をとことん応援**
  世界に羽ばたくビジネス、地域課題に対応する自治会、市民団体、イコマニア制度を活用したイベントづくり、課題解決ワークショップまで、新しい挑戦に取り組む人をとことん応援します。

裏面に続く！

対講資料

市政報告会
みんなで創ろう マニフェスト 説明会

平成３０年 **11/4（日）** 17:30〜19:00

生駒市コミュニティセンター 文化ホール（セイセイビル）

会場へお越しの際は、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。